

児童実践型



松山市立荏原小学校  
石田 年保

実践テーマ

テレビ会議を活用した交流学习で、その地域の自然やくらしをより強く感じ取る。

授業の進め方、デジタルテレビ等活用の仕方

- 導 入：北海道の雪の降り始めの写真から、現在の様子を予想するとともに、テレビ会議での北海道の3年生の発表を聞く時の視点をしっかりとめさせる。
- 展 開：・テレビ会議で3年生の発表を聞く。  
・冬の登校の様子を自作映像で試聴させ、冬の生活の厳しさなどをより深く理解させる。

本時の展開

主な学習活動		
学習の流れ	主な学習活動	使用する教材 (デジタルコンテンツ等)
導入	・北海道の冬の学校生活の様子を予想する（静止画）。	●北海道の写真
展開	・北海道の3年生の発表を聞く（TV会議①）。 ・発表を聞いた感想をまとめる。 ・北海道の様子を聞いて、驚いたことや疑問に思ったことを発表し合う（TV会議②）なかで、課題意識を高めていく（動画）。	●自作DVD「北海道の生活」
まとめ	・今日の学習を通してもった疑問や、学習を通して思ったことを、互いに伝え合う。	



北海道の雪の降り始めの写真から現在の様子を予想する



テレビ会議で発表を聞く



DVDで北海道の登校の様子を視聴する

児童の反応・効果

- ・テレビ会議でその地域に住む児童の言葉で伝えられることにより、本で調べるよりも、その地域の生活感などをより強く感じ取ることができた。
- ・電子黒板を利用することにより、より多くの情報をテンポよく提示することができ、児童の学習に対する意欲を高めることができた。
- ・テレビ会議で伝える活動をする事により、相手意識が高まり、わかりやすく伝えるための工夫をすることができた。（沖縄・北海道への学習成果の発表の場面）

活用のポイント

- ・本時のポイントを明確にするために、交流学习を始める前に写真（北海道の様子等）を提示する。
- ・児童の考えを整理したり深めたりするために、テレビ会議システムを多用しすぎず、相手の発表の後、松山の教室だけ（反対に北海道の教室だけ）での時間を設け、その後、発表し合うようにする。